

うめきた公園 様



アナウンス音源の作成・再生をスムーズに行う「アナウンスクリエイター」で都市型公園における園内放送のアナウンス音源の作成、放送業務を効率化。

概要

大阪駅北側の再開発エリア「うめきた2期」に整備されたうめきた公園は、2027年の全面開園を予定しており、2024年には一部が開園しました。約4.5ヘクタールの広さを誇る都市型公園で、世界最大級の大規模ターミナル駅に直結する公園として注目されています。広々とした芝生広場や四季を感じられる緑豊かな空間が整備され、市民の憩いの場としてだけでなく、防災機能を備えた広域避難場所としての役割も担っています。TOAでは、うめきた公園の案内放送において、PCで文字入力するだけで簡単にアナウンス音源を作成できる「アナウンスクリエイター」をご採用いただきました。多くの来園者に向けた利用上の注意やルールなどの放送を自動化することで、事務所スタッフの業務効率を大幅に改善し、来園者の安全・快適な公園利用に貢献しています。

納入情報

納入品	アナウンスクリエイター
納入時期	2025年4月

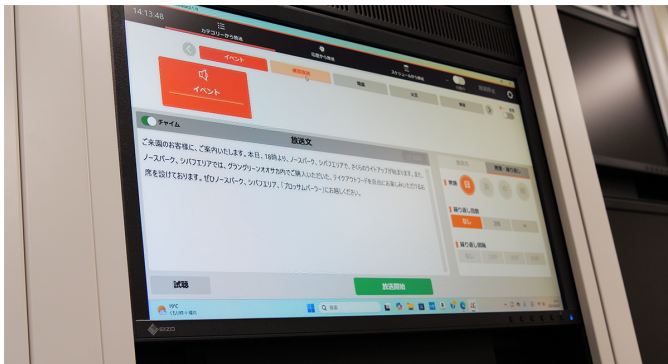
要望・お役立ちのポイント

要望

- 来園者が安全・快適に公園を利用できるよう、園内放送による音声での情報伝達・注意喚起を行いたい
- 事務所スタッフによるマイク放送の業務効率を改善し、定時放送や緊急放送の文章からアナウンス音源を作成して自動化したい

お役立ちのポイント

- 文章をPCに文字入力するだけで簡単にアナウンス音源が作成でき、人の声に近い自然な合成音声で再生できる「アナウンスクリエーター」をご提案。多岐にわたる煩雑な園内放送業務の省力化・効率化を実現
- 園内を利用する上でのルールやイベントなどの案内放送だけでなく、雷注意報や熱中症対策などの緊急放送にも対応
- 日本語に加え、英語・中国語・韓国語の多言語放送にも対応。インバウンド来園者への案内にも活用可能



うめきた公園の「アナウンスクリエーター」の画面。イベントの案内放送のほか、通常放送には「熱中症」や「熱中症アラート」「雷注意報」などの気候に関する案内放送のアナウンス音源が用意され、園内放送を行っている。

インタビュー記事



うめきた公園を訪れる多くの来園者が、安全かつ快適に公園を利用できるよう、定時放送や緊急時の放送などのアナウンス音源を「アナウンスクリエーター」で作成し、公園内で放送を行なっています。

うめきた公園管理センター
 所長 和田 洋介 様

- 今回のアナウンスクリエーターの導入経緯、採用のポイントを教えてください。

和田 氏

2024年9月の開業以来、サインや看板、スタッフによる声かけ、ホームページでの情報発信などを行なっていましたが、予想以上の来園者が訪れ、準備していた対応だけでは不十分で、ルールの周知が追いつかない状況となりました。

当初は、園内を巡回するスタッフが状況に応じて事務所に連絡し、事務所スタッフがマイク放送を行なっていました。しかし、来園者数や利用状況は日々変化するため、季節や曜日・時間帯によっても注意喚起が必要であることが分かってきました。そこで、案内放送業務を簡素化し、効果的な情報伝達を目的に、テキスト入力で自然な合成音声を作成・放送できる「アナウンスクリエーター」を導入しました。

- 導入後の使い勝手はいかがですか？

和田 氏

うめきた公園にはさまざまなルールがあります。例えば、芝生広場にはベビーカーや荷物用カートの乗り入れ、ペットの立ち入りが禁止されています。開業当初はスタッフによる声かけで対応していましたが、現在は定期的な案内放送により、以前よりもルールの周知が進んでいると感じています。

また、南公園の芝生広場には噴水施設があり、多くの来園者が利用しています。安全面や衛生面での注意喚起が必要なため、頻繁に案内放送を行なっています。雷注意報や熱中症対策などの緊急放送にも活用しており、来園者への迅速な情報提供に役立っています。

定時放送のアナウンス文は、これまで蓄積してきた文章をもとに作成し、不足分は自作しました。音源作成は問題なく操作できましたが、イントネーション調整には少し難しさを感じました。それでも、以前の手動によるマイク放送に比べて、業務の省力化・効率化に大きく貢献しています。

- 今後の展望をお聞かせください。

和田 氏

現時点多言語放送は運用できていませんが、関西・大阪万博の開催にともない、周辺施設を含めてインバウンドのお客様が増加しています。今後は多言語対応の園内放送も展開していく予定です。

うめきた公園のように多くの来園者が訪れる場所では、視覚・聴覚による情報提供が重要です。ルールや注意喚起、イベント案内など、アナウンスクリエーターは今後も多くの役割を担うと考えており、積極的に活用していきたいと考えています。

導入商品



アナウンスクリエーター